

青洲会病院における看護師負担軽減計画

看護師の勤務状況等(2025年 4月現在)

- ・病院規模 : 183床
- ・看護師数 : 常勤87名・非常勤3名
(他育短3名、介短1名)
- ・准看護師数 : 常勤 11名・非常勤1名

・看護師負担軽減につながったかの評価体制

- ・勤務医と同様に看護師負担軽減に係る責任者として院長を指名。
- ・責任者の下、役割分担推進委員会を組織(構成員:院長、事務長、看護部長、看護課長、診療技術部課長、リハビリテーション課課長、薬剤課課長、総務課課長、医事課課長、検査課、栄養課主任、その他院長が認めるもの。)
- ・看護師負担軽減対策チームは6ヶ月に1回、職員に負担軽減の成果等について聞き取り調査を行い、その結果を元に、計画の達成状況の評価及び、計画見直しを行う。

看護師負担軽減に係る計画(2025年4月現在)

項目	現状	必要な対処	達成度
			項目
看護補助者の配置	・常勤30名が勤務	・各病棟に応じた学習項目の設定及び研修を実施し、さらに増員	必要数 20人以上の配置
看護師必要数以上配置	・常勤 82名が勤務	・常勤看護師の安定した採用	常勤看護師数63人以上
育児短時間勤務の推進	・利用者 3名 (今年度育休復帰6名中2名)	・育休後の短時間勤務を推進する	育休後の短時間勤務を取得する割合を40%以上とする
介護短時間勤務の推進	・利用者 1名	・子の介護短時間勤務を推進する。	利用者数
時間外勤務の削減 (病棟看護職員全体)	・ 2024年10月～2025.3月(平均 113.2時間)	・新規入院時の書類説明を初め役割分担の推進	総時間外数

夜間における看護業務の負担軽減に資する業務管理

- ・ 11時間以上の勤務間隔の確保
- ・ 夜勤の連続回数が2連続(2回)まで
- ・ 暦日の休日の確保
- ・ 看護補助者の夜間配置(療養病棟・回復期リハビリテーション病棟)
- ・ 夜間院内保育所の設置

・他職種の活用、業務の役割分担

職種	実施項目
看護補助者	・体位交換、おむつ交換 ・滅菌材料の出し入れ ・リハビリ室、放射線、検査への患者移送 ・入浴介助、移動支援、シーツ交換 ・検査結果、各科の書類配布 ・配膳、下膳等の食事準備
リハビリ (PT、OT、ST)	・病棟やベットでのリハビリ ・リハビリ室から病棟への患者の移送
臨床工学技士	医療機器の保守点検、不具合時の調整
地域連携室	入院時の書類説明
総務課事務職員	ゴミ捨て業務、不潔リネンの排出業務

看護師負担軽減に係る計画の評価

項目	2025年4月1日	2024年10月1日	2024年4月1日	2023年4月1日	2022年4月1日
看護補助者の配置(※)	30(非常勤3)名	30(非常勤6)名	34(非常勤6)名	34(非常勤5)名	35(非常勤3)名
看護師必要数以上配置(※)	必要数 62 人	必要数 63 人	必要数 63 人	必要数 63 人	必要数 63 人
	74(非常勤5)名	77(非常勤2)名	79(非常勤3)名	74(非常勤4)名	73(非常勤3)名
育児短時間勤務の推進	3名	3名	3名	3名	2名
介護短時間勤務の推進	1名	1名	1名	1名	
時間外勤務の削減 (全体月平均)	2024.11～2025.3 113.2時間	2024.4～10 129.89時間			

(※)…外来部門を除く